



# よろんちょう 議会だより

第119号

2016年／平成28年5月25日

発行 与論町議会

編集 広報常任委員会

〒891-9301

鹿児島県大島郡与論町茶花32-1

TEL&FAX 0997(97)3201



国指定重要無形民俗文化財十五夜踊り

予算審議での主な質疑

(3)

平成28年度事業箇所

3月  
定例会

(8)

一般質問

6人が登壇！町政を問う

(10)

\*紹介：表紙左上のお面は本町の国指定重要無形民俗文化財「十五夜踊り」1番組に登場する「朝伊奈」の面です。踊りの場面では、絶対的な権力者である「うふすー」(大老)の役で登場します。

# 一般会計当初予算は 46億7329万円

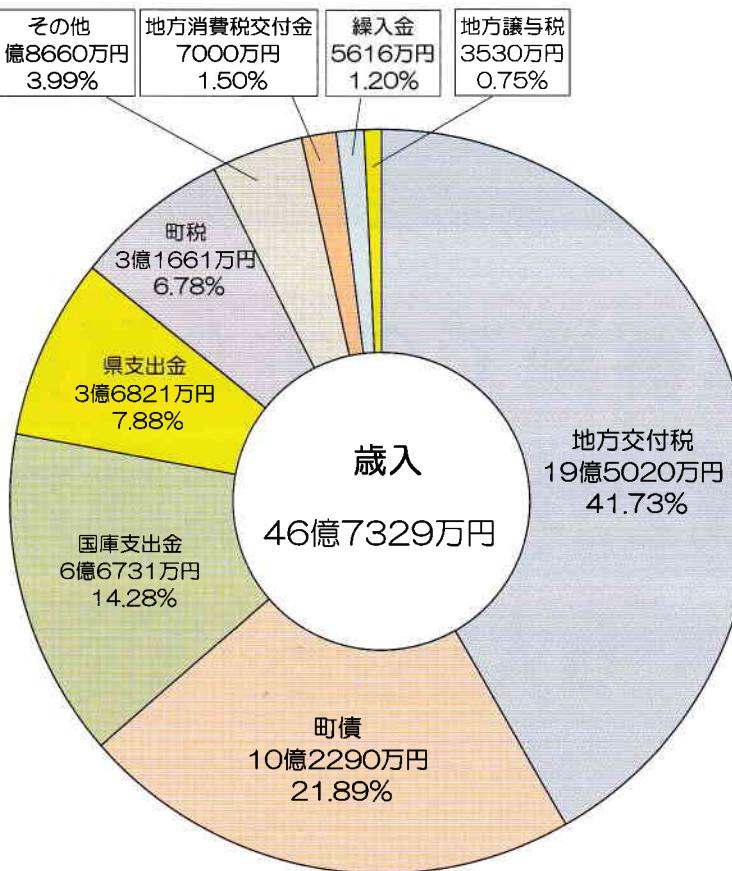
## 前年度比7.89%増

平成二十八年第一回定例会は、三月九日から十八日まで十日間の日程で開かれた。本定例会に提出された議案等は、平成二十八年度各会計予算案7件と、平成二十七年度補正予算案7件、条例案4件、一部を改正する条例案4件、全部を改正する条例案1件、その他2件、承認2件である。

平成二十八年度各会計予算案は町長の提案理由の説明の後、総括質疑が行われ、予算審査特別委員会へ審査を付託、十八日の最終本会議でいすれも原案のとおり可決された。このほか、平成二十七年度補正予算案等全て原案のとおり可決された。十六日的一般質問には6人が登壇、行財政全般にわたって活発な意見が交わされた。

### その他の内訳

利子割交付金	46万円
配当割交付金	25万円
自動車取得税交付金	300万円
地方特例交付金	20万円
交通安全対策特別交付金	50万円
分担金及び負担金	2138万円
使用料及び手数料	3920万円
財産収入	1085万円
諸収入	1億1076万円
合計	1億8660万円



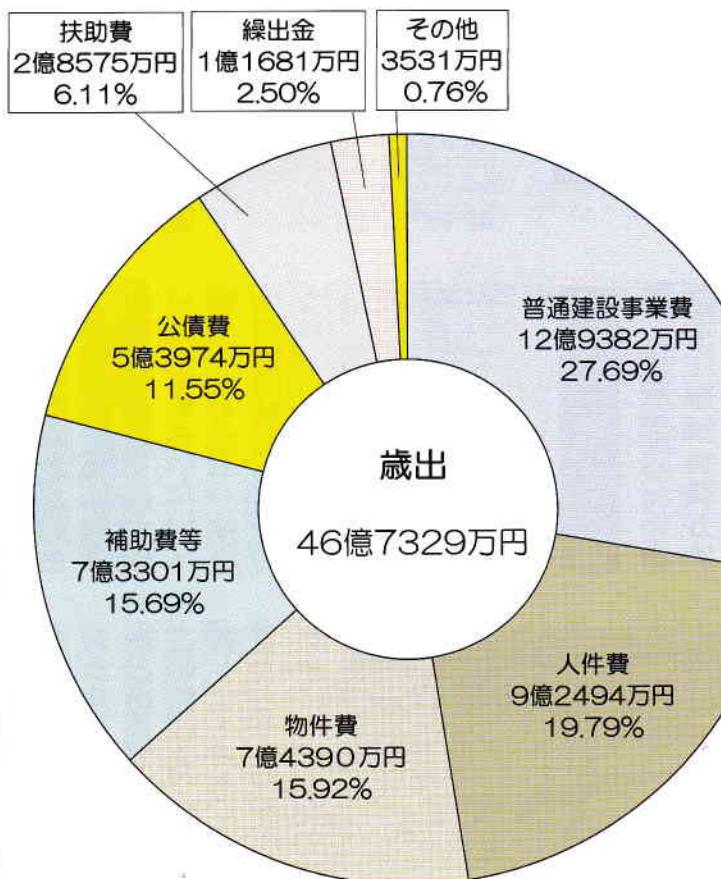
# 平成28年度一般会計予算(性質別)歳出

3 第119号

平成28年3月定例会

## 繰出金の内訳

国保事業勘定 繰出金	5391万円
介護保険特別 会計繰出金	1734万円
と畜場特別会 計繰出金	25万円
農業集落排水 特別会計繰出金	1624万円
後期高齢者医療 特別会計繰出金	2907万円
合計	1億1681万円



## その他の内訳

維持補修費	1539万円
積立金	624万円
貸付金	1188万円
予備費	180万円
合計	3531万円

答か。当初予算では過疎事業債で計上している。県が4月にヒヤリングを行い県内全体を合計した後に調整して各市町村に割り振る。足りない分は、一般廃棄物処理事業債やその他の起債で充当できるよう検討したい。

問 新ごみ焼却施設建設工事費の財源は、県の担当職員から過疎対策事業債で足りなければ一般廃棄物処理事業債で充当できると聞いているが、実際の予算措置はどうなっている

総務企画課

答か。これまで謝礼品として地元の産物を集め送ってきたが、平成28年度から地域おこし協力隊を2人配置するので、特産品を新たに開発するなど町のPRを兼ねて取り組んでいきたい。

問 緊急災害用石油備蓄費500万円の説明を。

答か。以前、ガソリン等が枯渇したことがあり、台風災害が発生やすい7月から2月までの期間、有村商事のタンクに通常よりも上乗せをして備蓄するための費用である。災害がなければこの費用は戻ってくることになっている。

一般会計の主な審議でふるさと納税推進費を計上しているが、どのように推進するのか。急速で取り組みたい。

問 庁舎建設の今後のスケジュールはどうなっているか。

答か。昨年までに想定していたスケジュールは遅れている。基本構想も平成28年度にずれ込むことになる。基本計画や着工は今のところ何年度といふことは言えないが、できることは言えるだけ



石油備蓄タンク（地下）

**税務課**



火葬場

**問 固定資産標準地鑑定評価の農地に関しての評価はどうしているか。**

**答 町全域の9地点において3年に一度、専門機関に委託して評価している。**

**地域包括支援センターなどで勤務する臨時職員の賃金は職に見合った額であると考えているか。**

**答 職員の業務は増加しており、現在の待遇では厳しい状況にあると考えている。**

**事業の年度配分をえた結果である。予算要求が少なく、事業の年度配分を進めていく。**

**答 予算要求が少なく、事業の年度配分をえた結果である。計画的に平成31年、32年に完成させる計画で進めている。**

**いる砂を除去する費用で、重機の賃借料が含まれている。**

**問 地方道路交付金事業の工事請負費が昨年度と比べ後退しているように感じる。上田線や那間茶花線は1000万円にも満たないが、県から予算縮減の指示があったのか。**



コースタルリゾート

**問 課長会や職員組合でも積極的に臨時職員の待遇改善について取り上げてもらいたいが。**

**答 こども園や、役場内の臨時職員の献身的な働きに支えられていて、臨時職員の待遇改善に取り組むことは、職員のやる気にもつながってくると思う。**

**問 港湾管理費にコースタル石除去重機賃借料とあるが、これはどのように使うのか。**

**答 コースタルリゾート内の、石も含めた防風柵に山積みとなつて**

**問 堆肥センターは、当初5年をめどに委託するということであつた。町長の施政方針に示されている業務の外、部委託及び指定管理者制度の検討はしているか。**

**問 漁協施設整備事業についての要望があつたが、経過はどうなっているか。**

**答 製氷施設は緊急性から平成27年度事業で整備した。残りの事業については平成28年度の地方創生交付金を活用して、モニターツアーを予定しているが、まだ国から補正予算の決定がない。外国人をターゲットに外国人をターゲットに取り組んでいきたい。**

**用して整備できないか検討している。**

**社、旅行会社を対象にモニターツアーを誘致して、誘客活動を開く必要はないか。モニターツアーに参加した人からいろいろ指導を受けることができれば、誘客活動にもつながる。また、韓国など海外から観光客を募集したらどうか。**



堆肥センター

**船会社や航空会社、旅行会社を対象にモニターツアーを誘致して、誘客活動を開く必要はないか。モニターツアーに参加した人からいろいろ指導を受けることができれば、誘客活動にもつながる。また、韓国など海外から観光客を募集したらどうか。**

**旅行会社には与論を知らない若い社員もいることから、昨年は1回だけ開催した。平成27年度の地域創生加速交付金を活用して、モニターツアーを予定しているが、まだ国から補正予算の決定がない。外国人をターゲットについては、沖縄に来る外国人をターゲットに取り組んでいきたい。**

**商工観光課**



ヨロンマラソン2016

**問** ヨロンマラソンの宿泊状況はどうだったか。今後の宿泊の需要と供給の見通しは。

**答** ホテルや民宿は、ほぼ100パーセント満室の状況であった。民泊の申し込みはなかつた。簡易ホテルが建設中であるが、需要と供給のバランスについては、供給不足であると考えている。

**問** ヨロンマラソンの宿泊状況はどうだったか。今後の宿泊の需要と供給の見通しは。

**答** ホテルや民宿は、ほぼ100パーセント満室の状況であった。民泊の申し込みはなかつた。簡易ホテルが建設中であるが、需要と供給のバランスについては、供給不足であると考えている。

**環境課**

**問** 海岸漂着物対策事業予算の内容について説明を。

**答** 国費が95パーセントの事業で海岸清掃のための作業員を2人配置する。清掃状況を主と、その他の海岸とに分けて県に報告する。

**問** 10時間のカリキュラムをつくりっている。来年度は、全小中学校に各学年2時間以上方言の教育課程を編入するよう工夫した。英語教育も同じように文化等で取り組む。

が必要である。サミットを機会に島ぐるみで取り組んでほしいが。

今までいいのか。将来的にどのように推移していくか。

どうしても徴収できないときは不能欠損処分をするしかないが、徴収に努めたい。

がり、自己負担が増えることを周知することができたことが減額につながったのではない。

**問** 与論小学校のみが国費が95パーセントの事業で海岸清掃のための作業員を2人配置する。清掃状況を主と、その他の海岸とに分けて県に報告する。

**問** 平成30年度から県に運営主体が移行する。国では、一般会計からの繰り入れが増えないよう基盤強化を図る対策を講じる方向で進めている。

今までいいのか。将来的にどのように推移していくか。

滞納があつた場合には、速やかに条例に基づいて一定の措置をしたほうがいいと思う。債権管理のあり方は、水道課だけの問題ではない。いろいろな形で把握しながら検討することも必要ではない。

これまで汚水を垂れ流しにしていたが、県からの指導もあり、浄化槽の設置工事を行っている。

**問** 昨年、台風時には断水があつたが、現在は万全な態勢が整えられているか。

**答** 最近、台風時に断水したことはない。台風時には、指定工事店と応急協定を結んでおり、断水しないよう態勢を整えている。

**水道事業**

**問** 滞納があつた場合には、速やかに条例に基づいて一定の措置をしたほうがいいと思う。債権管理のあり方は、水道課だけの問題ではない。いろいろな形で把握しながら検討することも必要ではない。

**答** 検討していきた

**介護保険**

**問** 方言の危機的状況は方言を聞くことができない世代が既にいるということである。社会人の中にも方言を聞くことができない世代が多くなっていて、方言を残していくための大きな課題となつていて、学校で取り組むのでは遅く、幼稚期に方言を浴びせかけること

**答** 今どうなつていて、方言は品位を崩さず、町民が参加できるような祭りとなるよう町民の意見を取り入れながら担当と検討していきたい。

## 特別会計

**問** 緑入金が5300万円を超えていているが、

**国民健康保険**

**問** 未収金を不能欠損処分することが懸念されるが、一般会計から莫大な金額を緑入しているので徹底して徴収に努めてもらいたい

**答** 平成27年度に介護保険料の改正があり、老人クラブ等7会場を訪問して介護保険の制度の仕組みや介護保険料が何に使われたかなどを説明した。使えば使う分だけ介護費が上

**問** 方言の危機的状況は方言を聞くことができない世代が既にいるということである。社会人の中にも方言を聞くことができない世代が多くなっていて、方言を残していくための大きな課題となつていて、学校で取り組むのでは遅く、幼稚期に方言を浴びせかけること

**答** 今どうなつていて、方言は品位を崩さず、町民が参加できるような祭りとなるよう町民の意見を取り入れながら担当と検討していきたい。

**農業集落排水事業**

**問** 未収金を不能欠損処分することが懸念されるが、一般会計から莫大な金額を緑入して

**答** 平成27年度に介護保険料の改正があり、老人クラブ等7会場を訪問して介護保険の制度の仕組みや介護保険料が何に使われたかなどを説明した。使えば使う分だけ介護費が上



浄化槽が設置されたと畜場

**と畜場**

**問** 現在工事をしているようだが、何の工事

**答** これまで汚水を垂れ流しにしていたが、県からの指導もあり、浄化槽の設置工事を行っている。

# 採択された陳情・意見書



## 南板畷農道（仮称）

**採択理由** この農道は、周辺の地域住民の生活道路としてだけではなく、地域営農のための交通路としても頻繁に利用されているが、轍が多く通行に支障を來し、バイク等の転倒を防止するなど、交通安全対策を講じる必要があることから、全会一致で採択。

# ○南板畠農道（仮称）の早期改良舗装整備の 陳情

**採択理由** 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうは、追突事故や転落事故のほか、柔道やラグビー、サッカーなどのスポーツ等で頭部に衝撃を受け発症する病気であるが、その危険性についての知識や認識が十分に理解されず、適切な対応や治療が後手に回ってしまい、重篤な状態となるケースが多くあるとのことである。

○軽度外傷性脳損傷・  
脳しんとうの周知と予  
防、その危険性や予後  
の相談の出来る窓口な  
どの設置を求める陳情者  
陳情者  
大阪府東大阪市  
軽度外傷性脳損傷仲間  
の会  
代表 藤本久美子

ツでも発症する。主な症状は、頭痛、めまい、ふらつき、耳鳴り、物が見えにくい、呂律が廻らない、しびれ、軽い麻痺、味覚や臭覚の減退、物忘れ、集中力の低下など、複雑かつ多彩である。脳しんとうを受傷しても通常、生命を脅かすことはないが、その危険性についての知識や認識が十分に理解されず、適切な対応や治療が後手に回ってしまつたために、1割から2割の人々が治らず重い後遺症を残して苦しんでいる。

このことから、国においては、医療機関は

軽度外傷性脳損傷・脳  
しんとうの周知、予防  
及びその危険性や予後  
を相談可能な窓口など  
の設置を求める意見書

もとより、国民、教育機関への啓発・周知をより一層図るとともに、予防措置の推進と各自治体での医療相談窓口の設置など適切な措置を講じるよう強く要望する。

地域住民の生活環境の改善や地域の活性化を図るため、とりわけ防災力の向上や安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点から、無電柱化の取組を計画的かつ円滑に進めることは極めて重要である。

しかしながら、欧米はもとより、アジアの主要都市と比較しても我が国の無電柱化割合は著しく低く、近年異常気象等の災害による

A photograph of a street scene in a developing country. The central focus is a multi-story brick building with multiple entrances and signs, possibly a shop or office. The building is surrounded by utility poles and power lines. The street appears to be paved, and there are other buildings visible in the background.

電柱

電柱の倒壊に伴う救援救助等への影響や、痛ましい通学児童の交通事故、急激なインバウト効果による海外観光客の増加などから、無電柱化に対する地域の要望は極めて強いものとなっている。

については、国会において、災害の防止、安全で円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、無電柱化の推進に関し、基本理念や責務、推進計画の策定等を定めることにより、施策を総合的、計画的かつ迅速に推進し、公共の福祉の確保や生活の向上、地域経済の健全な発展に貢献する無電柱化の推進に関する法律の早期成立を図るよう強く要望する。

# 所管事務調査報告

## 総務厚生文教常任委員会

平成27年12月21日に沖縄県の読谷村で、読谷村コミュニティーバスの運行について、午後からは、沖縄県庁で、沖縄県の離島航空路・航路運賃及び貨物輸送コスト軽減対策について調査を行った。



コミュニティーバス

読谷村では、平成9年に役場庁舎を読谷飛行場跡地に移転したが、役場への交通アクセスが整っていなかつたため、路線バス会社に運行要請をしたところ、採算がとれないとの理由から実現できなかつたことから、平成11年から最寄りの県道バス停から往復相当分のタクシー運賃を、1日1回限りで助成するタクシーケット助成事業を実施したことである。その後、平成20

年に役場の隣接地に文化センターや健康増進センターなどの公共施設等が整備されたことから、チケット利用者数が増加したため、平成21年4月からコミュニティーバスを導入したものである。

読谷村は、コミュニティーバスを運行するに当たつての基本方針として、①循環型社会の形成に寄与する優しい交通手段として村づくりに貢献すること、②少子化に対応し児童生徒に優しい村づくりに寄与すること、③高齢者等の活動機会を増やし、元気で明るい高齢社会に寄与すること、④既存バス路線を補完する交通手段として公共交通全体の利便性の向上に寄与すること、⑤村内各地から村民センター地区へのアクセス性を高め、村民福祉に貢献することの5項目を掲げて、ユニバーサルデザイン的発想による福祉環境の整備に尽力させていた。

次に、沖縄県庁での調査には前島明男沖縄県議、禧久伸一郎鹿児島県議が同行し、適切な指導・助言を受けることができた。

沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業は、定住条件の厳しい沖縄県内の離島について、航路業者、航空業者、市町村及び県が連携し、離島住民等の航空運賃及び船運賃を低減して離島の定住条件を整備

野菜15品目、花き13品目、果樹12品目、水産物9品目のほか、甘しょ、薬用作物、リュウキュウマツ等の県産材、きのこ、肉用牛、豚などの55品目であるとのことである。

その後、沖縄タイムス社、琉球新報社、沖縄北方担当大臣事務所を表敬訪問した。両新聞社では、今回の調査の目的と概要を説明するとともに、与論・沖縄間の航空運賃軽減の取組内容を報告し、沖縄北方担当大臣事務所では、与論・沖縄間の航空運賃の軽減が実現できるよう要請した。

後日、沖縄県が沖縄振興法に基づく一括交付金を活用し、沖縄と論間、沖縄・奄美間



読谷村での所管事務調査

以上が調査の概要であるが、当委員会としては、今回の調査を踏まえ、次の2つを提言する。

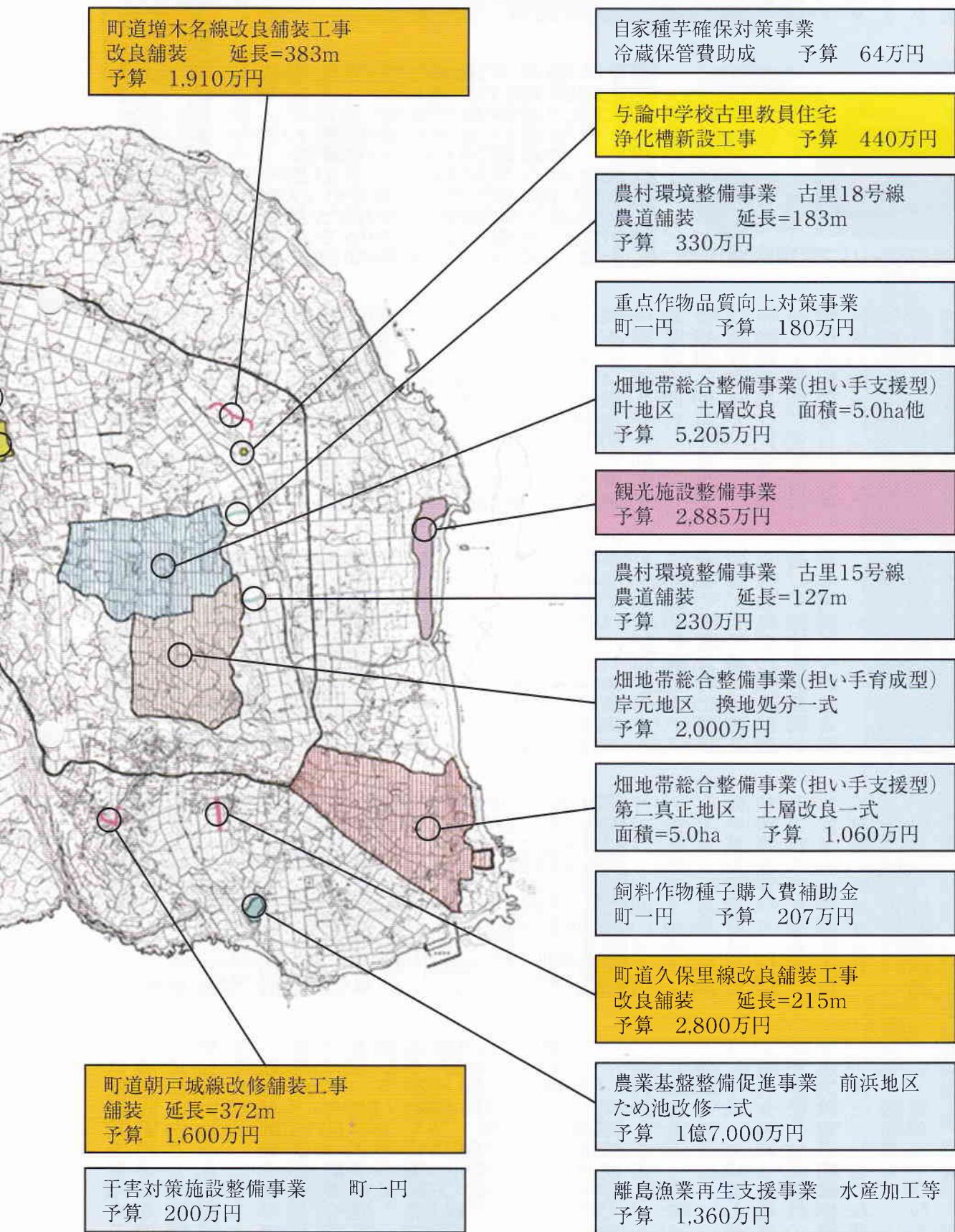
1 路線バスの運営の見直しは、福祉・観光面など影響が多岐にわたりることから、基本計画の策定はコンサルタント等に委託するなどして、関係機関等で検討委員会を設置し、十分に論議を尽くしながら進めること。

2 与論・沖縄間の航空運賃が軽減されることを踏まえ、実効性のある施策の早期展開及び沖縄との一層の交流促進を図ること。

以上総務厚生文教常任委員会の所管事務調査についての報告を終わる。

の航空運賃を軽減するため、鹿児島県と連携して助成する方向で調整していることが報道された。

# 事業箇所位置図



# 平成28年度

産業振興課

教育委員会

環境課

建設課

観光課

多目的屋内運動場トイレ新設工事  
予算 300万円

多目的運動広場整備事業  
予算 1億8,450万円

園芸施設整備支援事業 町一円  
予算 216万円

さといも生産拡大対策事業  
種子購入費助成 予算 350万円

茶花漁港水産生産基盤整備工事  
予算 1億円

町道那間茶花線改良舗装工事  
改良舗装 延長=50m 予算 500万円

町道船倉茶花線改良舗装工事  
改良舗装 延長=70m 予算 950万円

新ごみ焼却施設建設工事事業  
予算 7億1,663万円

辻宮住宅ストック総合改善事業  
予算 900万円

与論町沿道景観形成推進事業  
延長=250m 予算 596万円

県営海岸保全整備事業(高潮対策)  
実施設計一式 予算 2,160万円

農林水産物輸送コスト支援事業  
予算 2,341万円

奄美群島水産物輸送コスト低減実証事業  
予算 434万円

農業創出緊急支援事業  
(ビニールハウス整備)  
予算 6,210万円

環境保全型農業直接支払交付金事業  
町一円 予算 110万円

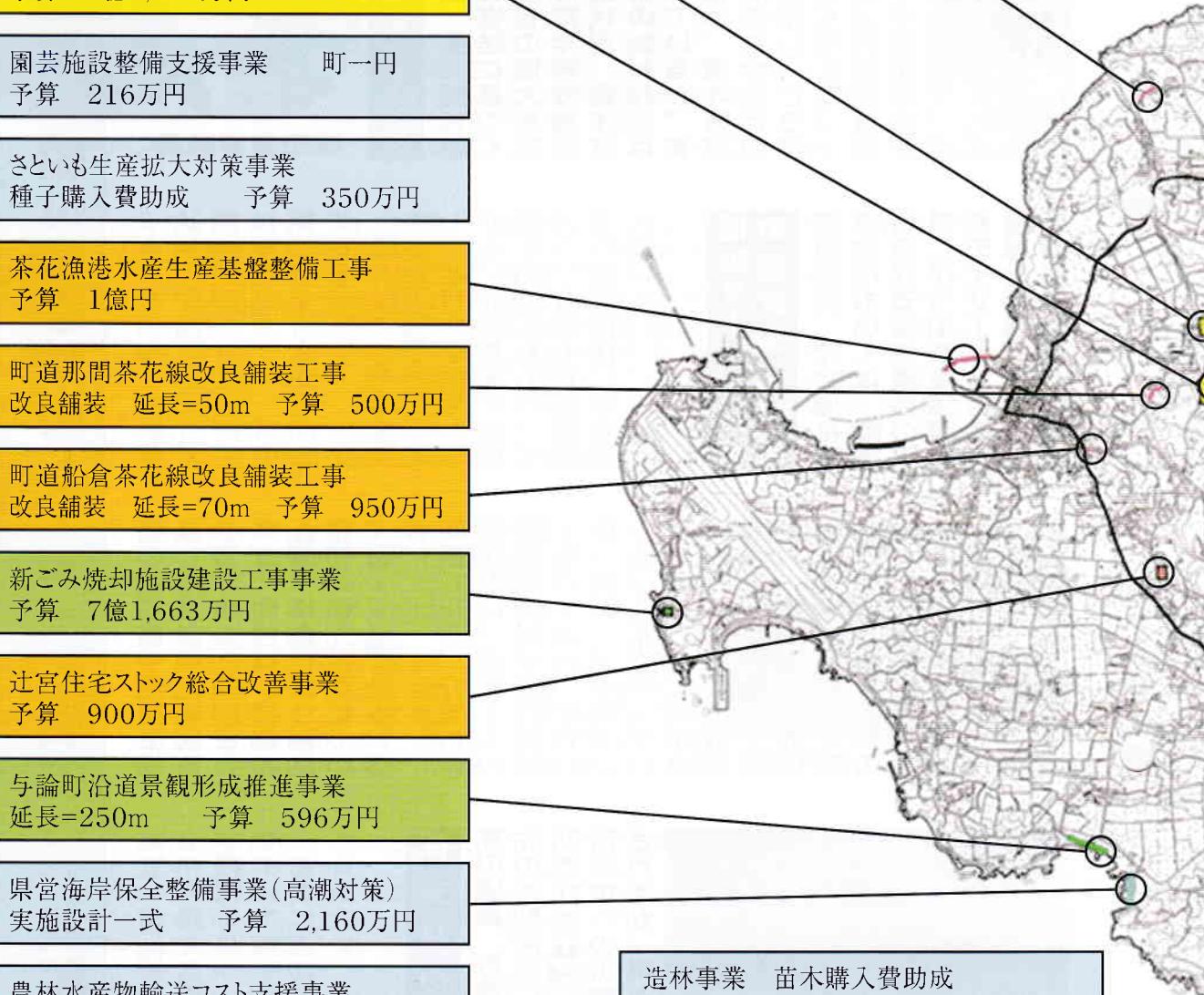
町道上田線改良舗装工事 改良舗装  
延長=70m 予算 980万円

造林事業 苗木購入費助成  
予算 59万円

優良素牛導入費補助金  
町一円 予算 810万円

さとうきび優良種苗供給確保事業  
町一円 予算 42万円

町道維持補修工事  
部分改良 那間茶花線(宅急便前)  
千迫線(空港トンネル)  
予算 1,000万円



# 市政質問

6人の議員が登壇、町政を問う

**新規就農者の支援対策**

**高田議員 農業経営基盤強化促進法に基づく新規就農者の増大を図るための青年等就農計画の認定状況** 青年就農給付金の給付状況はどうなっているか。また、町長は、青年等就農計画制度を今後どのように活用し、どう推進していく考えか。

**町長** 認定新規就農者制度は、平成26年度から始まつた制度で、本町では1人認定されている。青年就農給付金制度は、研修中に受給

**高田豊繁議員**



できる準備型と営農開始後に受給できる経営開始型があり、本町では準備型を1人、経営開始型を6人が受給している。

昨年度から新規就農者支援協議会を設置し、給付金を活用しながら、先進農家の研修生の受入れも行っており、今後も新規就農者の育成確保に取り組んでいく。

者相談員や職員を増員し、運営強化を図る必要があると痛感されるが、町長は、要員の配置や増員に伴う補助金等の拡充計画についてはどう考えているか。

**町長**

現在、介護相談支援数は、年間1人の相談支援員で50件前後となつておらず、それに伴う計画・アセスメントなどを実施している。受皿としての事業所が足りないことも課題となつておらず、島内の民間病院の通所介護が閉鎖されることに伴い、対象者が20人から30人以上に増加することから、スマートな運営が危惧される状況にある。今後も、相談支援事業所運営の介護福祉業務が増大していることから、有資格

**福祉サービス業務の運営強化対策**

**高田議員 社会福祉協議会においては、障害者自立支援協議会の設置に伴う相談支援業務やデイサービス等の介護福祉業務が増大していることから、有資格**

資格取得やスキルアップ研修等については積極的に支援し、増大する需要に適切に対処していくことを目標としています。



寺崎海岸（防風防潮林）

**保安林の整備**

**高田議員** 寺崎海岸は、先の大台風によって防風防潮林が壊滅されると、県と連携して背農地を含む生活圏に被害を及ぼすおそれがあることから、県と協議を行い、保安林緊急改良事業等による整備を検討していく。

業費等を確保しつつ、資格取得やスキルアップ研修等については積極的に支援し、増大する需要に適切に対処していくことを目標としています。

早急に保安林整備を推進する考えはないか。  
**町長** 寺崎海岸の暴風防潮林は、指摘の通り台風等で壊滅し、後背農地を含む生活圏に被害を及ぼすおそれがあることから、県と協議を行い、保安林緊急改良事業等による整備を検討していく。

**高田議員 整備箇所は個人名義になつていてようだが、今後どう対処していく考え方か。**

**町長** 個人名義の保安林については、保安林指定の承諾を得る必要があるが、指定による伐採の制限、他用途への転用制限等のほか、恩典についても説明し事業への理解を求めていく。

## 青年等就農計画制度の活用と推進を

# 新ごみ焼却処理施設の工事契約金額は

町長 11億9988万円で契約し平成29年3月に竣工の予定。



## くい打ち作業

**町長** 新ごみ焼却処理施設の建設について、は、平成27年8月に11億9988万円で工事請負契約を締結し、平成29年3月の竣工を幾らの金額で工事契約し、どのように設計をされているか。

**町議員** 周辺の環境美化等については、どのように配慮されているか。

飛散を防止して安全性を確保する考えはないか。

**町議員** 現在、リサイクルセンターに搬入された一般廃棄物は野面に分類・集積してあるが、これを町民が廃棄する際に、自分たちで分類し廃棄できるよう廃棄物ヤードにコーナー（仕切り）を設置することで、管理を容易にし、景観を保持す

で緑地帯を造り、景観に配慮した整備を行なう。また、敷地の内外周辺には、樹木や草花等を植えて、魅力ある観光地づくり整備事業による空港から与論港供利地区に至る遊歩道の整備計画及びヨロン駅周辺の整備等とも連携し、自然景観をいかした公園整備を進めていく。



## リサイクルセンターの一般廃棄物

**町長**　監査の結果は、適正かつ効率的な行政運営を推進する上で最も重要なことから、真摯に受け止め、適切な対応に努めている。特に、指摘内容により全局的な共通事項は、課長会等で協議し理解を図りながら、改善を指示している。また、部署ごとの指摘事項は、それぞれの部署で担当者に改善内容を説明し、適正な事務処理の徹底を図っている。

今後も、指摘事項については、繰り返し指摘されないよう職場研修などを通じて、職員の資質向上を図りながら、事務事業の改善や組織及び行財政運営の合理化に努めたい。

# 公園整備や植栽事業で環境・景観の美化と保全を

町長 島にある樹木を活用して公園整備等を進めていく。

**町長** 島にある樹木を活用して公園整備等を進めていく。また、地方創生加速化交付金を活用し、テレビ番組等の誘致やイベントを開催し、国内

**野口議員** マーケットの変化に対応するためには、田舎・外海離島のハンディをいかし、創意と工夫を凝らしながら、いかにして都会の住民の心を引き付け夢中にさせる魅力づく



公園整備が進む大金久海岸

**野口議員** 子育て支援の一環として、児の保育等に従事していることでも園の充実の必要性が痛感されるが、意欲をもって働くことができるように正規職員を増員するとともに、臨時職員の待遇を改善する考えはないか。

**野口議員** 病院費支援の充実は、子育て支援の観点から重要であると痛感しており、提案のシングルタンクの設置・活用についても必要不可欠であると認識している。今後、支援策の拡充について検討したい。

魅力ある観光地づくりを進めるため、本町の地域資源である恵まれた美しい自然環境を再生するとともに、他に類のない公園整備や植栽事業を推進し、環境・景観の美化と保全に努める考えはない。

**町長** 島にある樹木をできるだけ活用し、与論島の玄関口である港・空港周辺の公園整備及び周辺美化事業と、メインの観光ス

**野口議員** 地域おこし協力隊員と協力しながら、特産品の開発を進めていく。修学旅行や各種スポーツ大会・合宿等の誘致については、受入体制の充実を図りながら、情報発信を行っていきたい。

**野口議員** 島外で出産する場合の交通費と宿泊費に対する助成を一層拡充していく考えはない。

**町長** 島独特的の景観や風習に加え、自然だけではない島の人との交流など、多種多様な魅力が発信されることで、「行ってみたい」という気持ちが増していくものと考えている。今後、魅力ある景観づくりに努めながら、メディアへの積極的なセールスの展開とその誘致による情報発

りを進めていくがが大きい課題となつていて、メディアが取り上げたくなる環境の整備が必要であると痛感されがるが、具体的な対策をどう考えているか。

**野口議員** 島外で出産する場合の交通費と宿泊費に対する助成を一層拡充していく考えはない。

**町長** 島独特的の景観や風習に加え、自然だけではない島の人との交流など、多種多様な魅力が発信されることで、「行ってみたい」という気持ちが増していくものと考えている。今後、魅力ある景観づくりに努めながら、メディアへの積極的なセールスの展開とその誘致による情報発

信に努めていく。



野口靖夫議員

外に広く情報発信を行い、入込客の増大を図つていく。

りを進めていくがが大きい課題となつていて、メディアが取り上げるが、具体的な対策をどう考えているか。

ストップ少子化・子育て支援対策

た。平成29年度以降も年次的に採用したい。また、臨時職員の賃金は、平成28年度に一律引き上げるが、平成29年度以降は、経験年数や他職種との均衡等も検討しながら、待遇の改善を図つていきた

い。野口議員 島外で出産する場合の交通費と宿泊費に対する助成を一層拡充していく考えはない。

**野口議員** 島外で出産する場合の交通費と宿泊費に対する助成を一層拡充していく考えはない。

**野口議員** 病院費支援の充実は、子育て支援の観点から重要であると痛感しており、提案のシングルタンクの設置・活用についても必要不可欠であると認識している。今後、支援策の拡充について検討したい。

# 人口減少と超高齢化社会に歯止めを

町長 協働によるいきがいづくり等事業の展開を図っていく。



林 敏治議員

## 地方創生対策

**林議員** 人口減少と超高齢化社会に歯止めをかけ地方を創生するためには、早急な取組の必要性が痛感されるが、具体的にはどのような手順で、どう計画的に推進していく考

**町長** 若者をターゲットとした島内外の活発な交流人口の拡大、安心して暮らせる居住環境の創出、協働によるいきがいづくりなどの施策を重点化し、事業の展開を図っていく。

**町長** 周辺の景観をしく阻害している廃屋や防災・防犯上不適切な状況にあると認められる廃屋については、解体・撤去に要する経費に対し60万円を限度に、3分の2に相当する額を補助している。現在、問題のある廃屋等幾つかあるので、所有者の事情等を調査確認し対策を検討していく。

**町長** 少子高齢化が進み、人口減少や核家族化が進展していくにつれて、先祖の墓を子孫が守つていくことも難しい時代となってきたので、共同墓地（納骨堂）を今後整備していくことは必要であると考えている。まずは、近隣市町村等の先行事例を調査・研究し、設置費用や維持管理費・運営方法等について検討していく。

**林議員** 近年、少子高齢化や人口減少などで墓の在り方や価値観も多様化してきており、墓がない場合には、希望すれば島内外からその利用を申し

恵まれた美しい景観を維持・保全するため、これを著しく阻害し、かつ、防火・防犯上も問題のある廃屋を解体し撤去していく考えはないか。

**町長** 少子高齢化が進み、人口減少や核家族化が進展していくにつれて、先祖の墓を子孫が守つていくことも難しい時代となってきたので、共同墓地（納骨堂）を今後整備していくことは必要であると考えている。まずは、近隣市町村等の先行事例を調査・研究し、設置費用や維持管理費・運営方法等について検討していく。

**林議員** 奄美にドクターへリが導入されるが、本町では、沖縄県のドクターへリや自衛隊のヘリを利用している実情にある。同じ離島やへき地ではあっても、奄美大島を中心とする緊急医療体制とは様々な点で異なること



ドクターへリ

## 自衛隊訓練場の誘致

**林議員** 本町を自衛隊の訓練場・保養地にすべく、積極的にその誘致を図る考え方はないか。

**町長** 平成28年12月の運航を予定している県立大島病院のドクターヘリのエリアは、トカラ列島、十島村を含め立地条件が整っている。しかし、現実的には、平成18年から沖縄県のドクターへリが奄美で利用可能となり、本町と沖永良部島、徳之島まで運航している。本町と

しては、沖縄県へのドクターへリによる搬送を継続して要望し、安心・安全な救急医療体制の充実に努めたい。

## 廃屋の撤去対策

**林議員** 本町は観光地であることから、島の個性的で魅力あふれる

**町長** 若者をターゲットとした島内外の活発な交流人口の拡大、安心して暮らせる居住環境の創出、協働によるいきがいづくりなどの施策を重点化し、事業の展開を図っていく。

## 共同墓地の整備

**林議員** 近年、少子高齢化や人口減少などで墓の在り方や価値観も多様化してきており、墓がない場合には、希望すれば島内外からその利用を申し

## 緊急医療体制の整備

**林議員** 奄美にドクターへリが導入されるが、本町では、沖縄県のドクターへリや自衛隊のヘリを利用している実情にある。同じ離島やへき地ではあっても、奄美大島を中心とする緊急医療体制とは様々な点で異なること



自衛隊（総合グラウンド）

# 永続性のある子育て支援策を

町長 先行事例を参考にしつつ負担軽減策を検討したい。

**喜山議員** 現在、出産・子育て支援策の拡充について、現状や課題についてお聞きします。

子育て世代には様々な支援が行われているが、今後、消費税の増税や介護保険料の上昇等新たな社会負担を強化され、家計の負担は格段に増加していくと推察される。このため、出産から高校卒業までの18年間に加えて、大学進学等による家計負担の軽減が図られるよう、永続性のある思い切った支援策の創設等が喫緊の課題であると痛感されるが、町長は基本的な対策をどう考

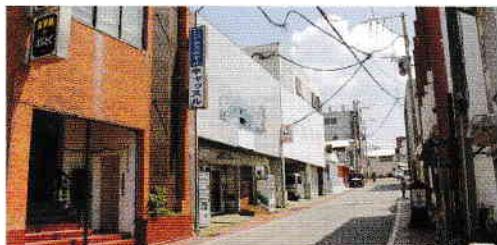
えているか。

**町長** 支援策の先行事例等を参考にしながら、財政的に許容できる範

囲内で、永続性のある負担軽減策を前向きに検討していきたい。



喜山康三議員



中央通り

町長 庁舎は地域の核となる施設であることから、周辺環境と調和のとれた景観形成や中心市街地などと一体と認識しているか。

**喜山議員** 街づくりにはにぎわいを醸し出すことと言つてもよい。にぎわいのシンボルとして庁舎の役目は極めて重要であると考えるが、町長はどのように認識しているか。

街づくり

町長 庁舎は地域の核となる施設であることから、周辺環境と調和のとれた景観形成や中心市街地などと一体と認識しているか。

町長 在り方と街づくりは表裏一体の関係にあることから、街の盛衰に大きな影響を与える主要な問題であると痛感されるが、本町の公共的な交通政策をどう推進していく考えか。

**喜山議員** 公共交通の在り方と街づくりは表裏一体の関係にあることから、街の盛衰に大きな影響を与える主要な問題であると痛感されるが、本町の公共的な交通政策をどう推進していく考えか。

町長 近年、人口減少や自家用車等の普及により、定期路線バスの利用者が激減していることから、利用率の向上や公共交通としての機能維持を図るために方策については再検討する必要があると考える。特に、高齢者や自家用車等が利用できない交通弱者の利便性向

**喜山議員** 多目的運動広場、いわゆるサッカーフィールドは、計画・着工されてから数年以上が経過している。町長は、公共施設の建設等の事

なつたまちづくりの拠点となる役割も担つており、多くの町民や観光客など、来訪者が行き交う「にぎわいのシンボル」としても、庁舎の果たす役割は大変重要であると認識している。



定期路線バス

町長 公共施設建設等の事業計画は、第5次町総合振興計画の実施計画や、陳情が採択された事業についてはその規模に応じて、実施可能期間や財源の裏付けなどを慎重に調整し、年次的な計画を策定している。

予算の確保は、計画した事業に係る補助金やその他の歳入財源を最大限確保することとし、起債の発行を伴う事業は、有利な起債の活用を図るなどの財政措置を講じている。

今後の大型事業の推進に当たっては、特に公共施設の統廃合や模縮小等の必要性を考慮しながら、単年度に財政支出が集中しないよう事業費の平準化を図るなど、適正な事業計画による財政運営に努めていく。

業計画や予算確保の在り方についてはどう考

えているか。

# こども園の協働体制の構築・強化と支援を

町長 地方創生事業を活用し支援の充実を図っていく。

**町長** 現在、こども園では、各クラスの保護者の中から会長・副会長を選任して、主に園

子育ち・子育て支援対策の施政方針の中で、「こども園・小学校・中学校・高等学校との連携を充実させ、心の教育、 Yunヌフトウバ学習、英語学習などにおける一貫した教育の推進に努める。」とあるが、子育ち・子育て支援を充実させるため、こども園に保護者の集いを組織し、情報の共有、課題の研修等を行い、小・中・高のPTAとの協働体制を構築・強化し支援していく考えはないか。

**麓 良議員**



ハレルヤこども園

内閣諸官事務の開催時に準備・運営等について協力をお願いしている。小・中・高のPTAのような組織体制はないが、教育委員会、子育て支援担当課及び保健センター等で連携を図り、情報の共有に努めている。

今後、地方創生の子育て支援・福祉促進事業等を活用した研修会や講演会を開催し、こども園・小学校・中学校・高等学校の枠を超えた支援について、子育ち・子育て支援担当者を委嘱し、協働体制の環境を整備・充実していく考えはないか。



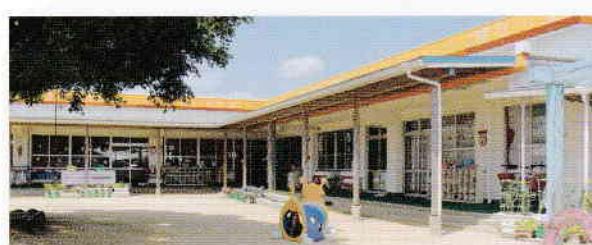
与論こども園

**麓 良議員** こども園の保護者やこども園に通園させていない保護者も支援対象に含めた上で、保護者の集いをコーディネートする担当には子育て支援員や適任者を嘱託し、協働体制の環境を整備・充実していく考えはないか。



那間こども園

**町長** 全ての子育て世帯が、支援事業を円滑に利用できるよう情報の提供や相談の支援・関係機関との連絡調整等を行っているところである。今後、子育て世帯の要望や個別のニーズを拾い上げ、更に子育て支援を充実していくためには、公的な機関だけではなく、子育て支援員や子育てコーディネーターによる、保護者にとって身近で集いやすく、日常



茶花こども園

的に利用でき、かつ、当事者目線による、寄り添い型の支援を行うことのできる相談機能を持つた民間施設の設置運営が必要であると考えている。子育て支援員・子育てコーディネーターをして一人一人の子どもが健やかに成長することができる地域社会を実現するため、子育て支援の充実に向けて取り組んでいく。

今年で25回目を迎えたヨロンマラソンも、無事に終えることができました。これもひとえに全国各地から参加いたいたいたランナーをはじめ、多くの町民・ボランティア、関係各位の御協力のお陰様であります。深く感謝申し上

る  
観光の再生  
を目指して



永井新孝氏

わたしもひとこと

### プロフィール

○ 氏名 永井新孝  
○ 住所 与論町東区  
○ 職業 ヨロン島観光協会長

さて、私も昨年5月の総会において、会長に選出されてから、約1年を迎えました。

近年、ヨロン島の集客を引っ張ってきた大型ホテルが相次ぎ閉館を余儀なくされてきた中で、昨年は入込客数が対前年比で7259人の増となり、年間で6万人台まで持ち直すことができ、関係者一同胸をなで下ろしたところであります。

その要因としては、まずはヨロンマラソンも、無事に終えることができました。これもひとえに全国各地から参加いたいたいたランナーをはじめ、多くの町民・ボランティア、関係各位の御協力のお陰様であります。

昨年は、接遇研修を実施しましたが、今後も島の現状と課題を踏まないよう気を引き締めて取り組んでまいりたいと考えております。



ソディカのウインナー等

今年もこの流れを持續できるよう町当局及び関係機関と緊密に連携しつつ、当協会の各般にわたる事業を積極的に推進してまいりたいと考えております。

最後に、我が島の観光産業の振興と町勢の発展のため、微力ながら力を尽くしてまいりたいと考えております。

ついで、今後とも一層の御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

2日のセリ市では、全体で平均68万7638円で取引され、1月のセリ市より3万3891円の高値であった。このまま好調に推移することを期待したい。

これまで7年半の長きにわたり議会事務局長を努めた川畑義谷氏が今年3月31日で定年退職となり、後任に川上嘉久事務局長代理が誕生した。書記には喜村一隆が任命され、市来絵梨補助職員を含めた3人で議会と監査の事務局を担当することとなる。

ここに第119号を発行できることを、町民及び関係各位に感謝申し上げる。(福地)

題に即した研修等を重ねて、来島者を温かく迎え、過去の接客等の轍を踏まないよう気を引き締めて取り組んでまいりたいと考えております。

ヨロンマラソンに参加されたランナーをはじめ、修学旅行で訪れた生徒たちからは、街灯のない真っ暗な道や星空の美しさに驚いたことや小学生の子供たちの挨拶に感動したことなど、人の温かさが感じられ、とても感動したとの感想が数多く寄せられています。

2日のセリ市では、全体で平均68万7638円で取引され、1月のセリ市より3万3891円の高値であった。このまま好調に推移することを期待したい。

これまで7年半の長きにわたり議会事務局長を努めた川畑義谷氏が今年3月31日で定年退職となり、後任に川上嘉久事務局長代理が誕生した。書記には喜村一隆が任命され、市来絵梨補助職員を含めた3人で議会と監査の事務局を担当することとなる。

ここに第119号を発行できることを、町民及び関係各位に感謝申し上げる。(福地)

### 編集後記